

平成29年度 学校評価報告書

学校名	三田市立狭間中学校
-----	-----------

1 学校教育目標

人間尊重を基盤とし、確かな学力と豊かな心でたくましく生きる生徒の育成

2 今年度の学校重点目標

1. 学力向上	2. 生徒の人権が尊重される学校づくり
3. 開かれた学校づくり	4. 生徒理解に基づく生徒指導の推進
5. 教職員の実践的指導力の向上	6. 働きやすい職場環境の整備

3 総合的な自己評価

生徒は規律を守り、礼儀正しく、授業も集中して取り組むなど、全体的に見て概ね良好である。次年度も落ち着いた生活環境の中で、「基礎学力の定着」と「対人関係能力の育成」を重点に取り組む。いじめや暴力のない学校生活のなかで、学校に適應できない生徒や特別に支援を要する生徒への指導と、「わかりやすい授業」や「基礎学力の定着」による学力保障に努める。

4 総合的な学校関係者評価

学校生活全般においては、概ね良好と考える。教職員は学力向上への意識を持ち授業力の向上に努めている。生徒も規律正しい生活に高い意識を持ち、「学校評価アンケート」の「楽しく充実した学校生活」の数値が 95%を上回った。今後は、保護者の要望でもある生徒理解や適切な指導に心掛け、いじめや暴力のない安心した学校生活に努めること。
--

5 評価結果

自己評価		学校関係者評価		
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程	・年間の標準授業時数を確保する	・新たな教育活動を取り入れながら、標準授業時数を確保している。 ・学校行事も、限られた時間の中で内容を工夫して実施している。	・教科に偏りのない授業時数の確保に努める。 ・常に教育活動の見直しや精選を行いながら、新たな教育活動においては、三田市の教育方針を鑑み、吟味して計画的に実施していく。	・授業時数は良好と考える。 ・学校行事の開催日については、今後も小学校や関係組織と調整すること。
	・教育活動を見直し、精選と充実を図る			
	・適切で充実した学校行事を実施する			
学習指導	・わかる授業で「確かな学力」を向上させる	・新学習システムの授業を3教科で行い、放課後や夏季休業中等で補習を行っている。 ・人間尊重を基盤に学校生活全般で指導している。	・研究体制を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」や「見通しと振り返り」等の授業形態を全教科で実施して、授業力の向上に努める。 ・日々の授業において基礎学力が定着するように工夫と改善を行う。	・学力向上には授業形態の在り方も重要である。各教科で調整しながら、個々の教員の力量を高めること。 ・基礎学力の定着に向けた取り組みを充実させること。
	・基礎的学力の定着を図る			
	・命や人権を大切にすることを育てる			
生徒指導	・規律正しく、落ち着いた生活を確保する	・規律正しく、落ち着いた学校生活を送っている。 ・月1回の「生活アンケート」や年2回の教育相談等のあらゆる手段で生徒理解と問題の早期発見に努め、組織を機能させて適時・適切に指導している。	・休み時間や給食準備時間の過ごし方を生徒とともに考え、改善する。 ・いじめは、いつでもどこでも誰にでも起こる問題として捉え、全教職員で日々の言動に注意を払う。 ・学級活動を中心に、教育活動を通して生徒一人一人に自己有用感を感じさせ、自尊感情を高める。	・いじめ等の対応については、保護者との連携を密にし、保護者の理解と協力を得ながら指導すること。 ・教師自らも人権感覚を磨き、学校に人権文化を創ること。
	・いじめや暴力を許さない学校文化を創る			
	・教育相談を充実させ、生徒理解に努める			
	・個々の生徒が認められ活躍できる学級・学年活動を行う			
安全・保健管理	・安全で安心な生活環境を整備する	・毎月1回、全教職員で施設や設備の瑕疵等について安全点検を行っている。 ・年2回、防犯教室を実施し体調管理や登下校等についても日々指導している。	・安全点検に加え、環境美化にも努めることで、生徒に安全で快適な生活環境を意識させる。 ・ネット犯罪から身を守り、トラブルに巻き込まれない知恵と態度を身に付ける安全教育を毎年実施する。	・限られた予算のなかで快適な生活環境を維持するには、地域ボランティア等への依頼も検討すること。
	・危険回避の安全教育と安全指導に努める			
保護者や地域との連携	・学校や生徒の様子をわかりやすく伝える	・ホームページに「トピックス」を新設し、日々の学校の様子を紹介している。 ・年2回のオープンスクール等、授業参観(3回)の機会を設けている。	・写真や記事の掲載にあたっては、個人情報の保護に留意してホームページの充実にも努める。 ・学校行事や活動報告会以外にも生徒向けの講演会等もお知らせして保護者の参観の機会を増やす。	・学校生活の様子や授業の在り方を、保護者自身が確認して理解できるように、参観の機会を設けるとともに積極的に働きかけること。
	・学校行事などで、学校を開放する機会を設ける			
研究・研修	・研究テーマを設け、実践的指導力の向上に努める	・「生きて働く言葉の力」を共通テーマとし、研究会や公開授業を行っている。	・研究推進体制を充実させ、組織として切磋琢磨しながら個々の教師の実践的指導力を向上させる。	・校内研究においては、教科毎に調整しながら、他校の研究からも学ぶ体制を確立すること。
職場環境の整備	・定時退勤日やノー部活デーを徹底させる	・ノー部活デーは完全実施できているが、定時退勤日は徹底できていない。 ・ハラスメントは、日頃の言動に気を配りながら、研修と自己点検を行っている。	・定時退勤日については、教職員の意識改革とともに、保護者にも理解を求めながら実施していく。 ・ハラスメントを許さない職場の雰囲気づくりに努めながら、定期的に研修と自己点検の機会を設ける。	・良好な学校の雰囲気づくりには、ハラスメントを許さない教職員関係も重要である。今後は自己点検に努めること。
	・ハラスメントのない働きやすい職場づくりに努める			

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
4月3日	今年度の学校教育目標や重点目標の確認
5月15日	今年度の重点目標や具体的な取組内容の確認
12月11日	全教職員を対象にアンケート調査
12月11日	全生徒を対象にアンケート調査
12月25日	全保護者を対象にアンケート調査
1月9日	アンケート結果等から成果と改善点を確認

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
7月8日	今年度の重点目標や取組内容・学校関係者評価の手順等の説明
9月18日	体育大会の視察
10月28日	オープンスクールの視察
11月3日	文化祭の視察
1月13日	自己評価の結果と改善点等の説明 意見の聴取
1月26日	オープンスクールの視察

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
4月19日	学校通信・学校ホームページ	今年度の学力向上指導改善プランから重点目標や取組内容を説明	○
4月22日	P T A総会	今年度の重点目標や取組内容の説明	
1月15日	学校通信・学校ホームページ	今年度の取組内容(自己評価)の成果と改善点を報告	○
2月1日	学校ホームページ	学校評価報告書(自己評価及び学校関係者評価)の報告	○